「新組合歌」が誕生
作曲家も坑内へ下る

組合では創立十周年を迎え、清新なる組合歌を公募していましたところ、締切十九日に四十八編が集つた。東京青楽センターより三村信先生が来山、直ちに選定が行われたが、どうもピツタリする歌詩が見あたらず、このため創作グループを呼び先生を囲み、夜を徹しての歌詩の推稿が行われた結果二十七日の朝方ついに左のような新組合歌が誕生した。

炭ほる仲間

作詩 三池炭労創作グループ
作曲 小林秀雄
(三池炭鉱労働組合歌)

一、みんな仲間だ炭ほる仲間
ロープのびきる真剣切羽
未来の壁にたくましく
このつるはしを打ち込もう

二、みんな仲間だ炭ほる仲間
たゝかい進めた俺たちの
闘をつらぬくうたごえが
おい聞えるぞ地底から

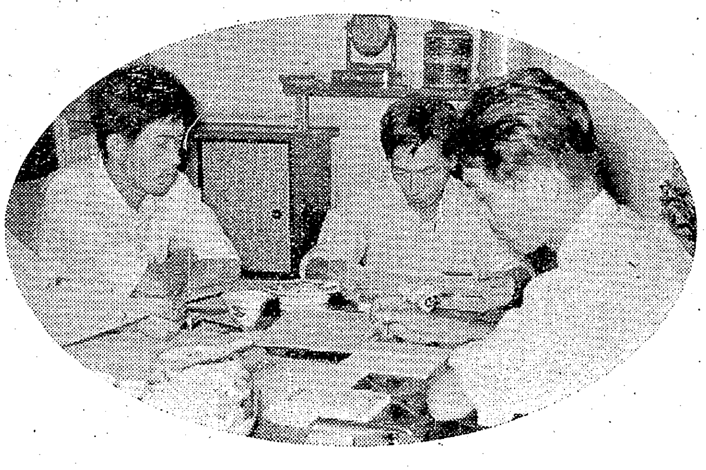
三、みんな仲間だ炭ほる仲間
つらい時には手をとり合おう
家族ぐるみのあとおしが
明るいあしたを呼んでいる

四、みんな仲間だはたらく仲間
けむる三池のたてよこ結ぶ
旗に平和としあわせを
三池炭鉱労働者
三池炭鉱労働者

なお作曲は小林秀雄先生に依頼してあり、同氏はすでに来山しており、二十七日炭鉱の雰囲気、三鉱労組の体臭を感じるため三川坑に下り、炭鉱労働者のナマの姿をまなこにして帰京した。すくなくとも十月二十五日ごろまでには作曲を完了、レコード吹込みその他一切の作業を完了する予定となつている。

また歌詩選のため来山した三村氏も二十六日三川鉱底に下つており、このときの感動を集団作詩で活かされているが、三池をみた感じやその他について伺つてみた。

坑内は壮厳だ



三村氏(中央)を圍んで組合歌詞の集團創作

三村氏談 炭鉱というところにははじめて下つたが、あまり緊張しすぎたゝめか非常につかれた。昇つてくるときは人車の中で眠くなつたほどです。坑内をみたがいろいろ他の職場をみた感じではこゝほど悪というものが入る余地のないところはない、壮厳な感じを受けた。大牟田にきて一番最初うけた感じはさすがに労働者の街だなアと感じたことです。

このほか現在の歌ごえ運動についてもつぎのように語つていた。

いま歌ごえ運動で一番の欠陥は創作の歌が少いことです。これは運動が発展すればするほど真剣に取組まなければならないし解決を迫られている。

また三、四十代の人たちが余り歌ごえ運動に入つていないということを聞くが、歌声運動の最初の出発点は青年運動からだつたのでこれが中心になつていたこの運動が広がれば広がるほど家庭の主婦、子供、壮年の人たちも追いついてくると思うが、現在のところではそういうはばがない。

姿見

荒尾高校事件に思う

本所 江藤説子

年長者や先生は尊敬しなければならぬーという枠を押しつけるのは間違いで、個人が真に人間として尊敬するのに値すると思つた人間を尊敬するのが本当だーという考え方が近代的だと思う。所が荒尾高校事件はここに本質的原因があるのではないか。そうなれば、これは戦前、戦後派の対立という。世界的風潮の一つの現れといえる。尊敬すべきは先生の職業でなく内容である。

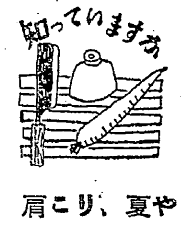
生徒が先生を批判、抵抗するということは、私達の思い及ばなかつたところだが現代では肯定さるべきだろう生徒の乱暴さだけを取上げた新聞論調のなかで、N紙の「先生の進学率向上への焦りからくる強圧」を指摘しているのは肯ける。この事件も当然双方に非があることは明らかで、生徒の中の責任者を処罰するなら先生も警察導入その他学校側の不手際の責任をとるべきと思う。

▽「姿見」投稿を歓迎=四百字前後掲載分には謝礼進呈

秋の撮影心得

さわやかな秋の訪れは、アマチユア・カメラマン活躍の絶好のシーズンです。澄みきつた大空、黄金色にみのつた稲、若い肉体の躍動する運動会、仲良しグループのハイキング、豊かにみのつたブドウナシなど、どこをみても楽しい被写体ばかり。陽ざしも撮影には申し分なしというところ。どんなものを写すにも「何を写すか」ということをはつきりつかんでピントを合せたいものです。例えば「稲刈り」をスナツプする場合、遠くからカメラを向けるより、稲を刈る農夫に接近して稲と農夫の表情をはつきり写してはどうだろうか高原での記念撮影でもバツクになる遠方の山などに気をとられ肝心の人物を小さくしすぎぬよう注意が必要。広い風景を入れての撮影には出来るだけ小さい絞りを使い一、二メートルに接近したときは絞りを大きくし早いシヤツターをきりましよう。団体旅行などで往々失敗する例として車中、宿屋の廊下などの撮影で逆光線のため人物が真黒になつていることがあります。この場合、人物の暗部に露出を合せることが必要ですし、出来れば七三の光線をとるようにしましよう。特に秋は空気が澄んでいますから露出過度にならないよう十分に注意が必要です。フイルターはとくに必要ではありませんが、雲などを強調したいときは黄色二号位が適当でしよう。

ろちゃん 中村かめお



肩こり、夏やせの治し方

▲…肩のこりで悩まされるのはいやなものです。手軽にほぐすハリ薬名と簡単な治療法は、塩酸シノメニンという薬を注射してもらうと、しばらくはスーツとします。一時的にらくになるのには、ラブ(近江兄弟社)という薬をすりこんでもよく、またこのごろはやりのトクホンやハツプのようなはり薬でも有効でしよう。

問題は何が原因で肩こりが来ているかです。その原因を治さねば本当に永つづきする効果は望めないのです。虫歯を捨てていないか、歯の根がうんでいると、その側に肩こりの来ていることがありますまた高血圧や動脈硬化で来ているかもしれません。これはセルペンチーナ製剤を薬店で求めて内服なさることです。血圧を三、四〇は副作用なく下げられるでしよう。肋膜炎の一つの症状として肩のこることもあります。ただ年のせいと腕を使うしごとのせいでこつているとき、入浴で暖めたり、マツサージまたはアンマが有効です。もちろんおきゆうも有効です。一番簡単なのが入浴後しばらく肩をたたいてもらうことです。

▲…夏やせの後の治療法はまづ胃腸を強くすること。この家庭療法として毎食事に十五分間以上の時間をかけて、十分にかんでたべることと、ビタミンB剤を服用することの二つでしよう。健胃散の乱用は反つて危険です。ビタミンB剤はB群の複合剤を選んで下さいB1だけでは不十分です。夏やせの回復法としては、つとめて油つこいものとでん粉質(含水炭素)のものとを食べることで、その目的にかなう食品としては、いも、かぼちや、豆類、いわし、さんまのようなものがよく、いものてんぷらなどが最適です。そして何よりも十分に睡眠をとることが大切です。どんな理由や事情があつても毎晩八時間以上は眠るようにしましよう。

お知らせ

九月十八日より左の商店を新たにチケット券利用として追加いたします。

東部 藤枝畳店(亀谷) 境畳商店(白川) 坂本畳店(上官)
西部 江島畳店(西浜田)

ヤマ・グラム(第二回)正解者なし
第二回の賞金は一千圓

賞金五百圓 【第三回】ヤマ・グラム

【ヒント】あなた一番、わたしは二番、上り下りで、逢うばかり (古民謡)

【問題】

かたの◇う◇◇の二◇が上りと◇りとの◇い◇間でしかあい見ることが出来ないというそのはかなさを謡にかこつけたのである◇れて◇◇がゆつくりあつて話せるのは◇◇だけであるそれ◇◇はどちらかが仕事を休まねばならない◇◇なことにはこのころは◇休◇の◇が少なく月に◇◇か◇◇しかなかつただから当然二人はどちらかがかたを◇つて◇じかたで◇こうとつとめたものである。

▲◇印に当用漢字を入れること。解答は順番に漢字を書くだけで結構です。(締切十月七日)

▲賞金 五百円、正解者多数の場合は抽せんにより五名に分配します。

▲応募規定 用紙はハガキの大きさ。解答用紙には「みいけ」欄外の三鉱労組のマークを切抜いてはつて下さい。組合員に限る。なお氏名はもちろん、支部名、職名も必ず記入のこと。

▲正解者なき場合は、賞金は次回に加算いたします。

応募数 一三四通

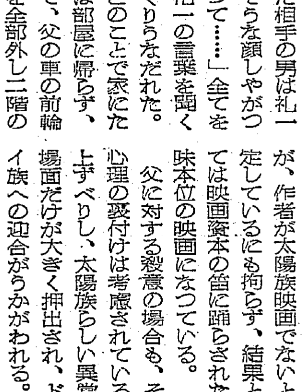
【第二回解答】

(昨)年の(秋)のある日私は(人)三)番方に入(坑)して(人車)を降りると(本)線斜(坑)まで五百メートルの(人)道を遅足なつて一人でぼつぼつ(歩)きました。私は同(僚)からずつと(後)にしたこの坑(道)には片側に巾一(尺)位の(小)川が流れており小さなせせらぎの(音)をたてています(坑)木の積んである(下)で坑木にでもついて来たものかこおろぎが細(細)と鳴いている再び(地)上に(上)る事はなく余(命)の少ない自口のばん(歌)をかなでているようですこおろぎの生(命)の(果)が(哀)れでなりません。

▲(昨)去が圧倒的に多かつた。

▲(細)々は当用漢字にはない。生(命)は涯がほとんどでありましたが、当用漢字にはありません。(果)は姿が圧倒的に多かつた。二字違いが最高で一人だけ、あとはほとんど四、五字違いでした。これで第二回の賞金は千円になりました。

詰将棋



【ヒント】二枚角の有効に玉を追うこと

初心者向、五分で解ければ詰将棋にも楽しみをおぼえる。

出題者 (四山 小野強)

=映画紹介=

日蝕の夏

三ケ月前までは兄は妙子と婚約を結んでいたが、父から横槍が出て一方的にその婚約を破棄してしまい、改めて由美子と婚約したのである。妙子の弟の礼一は直樹にとつて無二の親友であつたが、そのことがあつてから急によそよそしくなり、サツカーのゲームで負傷して入院したときも、見舞つた直樹に口を利こうともしなかつた。

ところが二人の訪れた那須のホテルには、高島工場に行つた筈の直樹の父浩三の乗用車が止つていた不思議に思つた直樹が暫く待つと程なく浩三は女とともに姿を表した。しかもその女というのが兄の恋人だつた妙子なのだ。憤然とした直樹は「お父さんだつたんですね、何もかも滅茶々々にしたのは」と怒りを投げつけざま、来たばかりの道を引き返した。

それ以来、直樹は執ように父親を憎んだ。出来るだけ父に顔を合すまいと夜も更けてから家に帰つて自室にひつこむ生活を続けた。そうしたある夜、直樹は節子とキヤバレーの秘密舞踏会に出かけた。入口でマスクを受取つて仮面のままの参会者が踊り始めたとき、直樹の眼は一組の男女に釘づけになつたとみるまに、その女に近づいてマスクをはぎとつた。杏子であるしかも「何をするんだ」と怒つてマスクを外した相手の男は礼一であつた。「偉そうな顔しやがつてお前の親父だつて……」全てを知つている様な礼一の言葉を聞く中に直樹はがつくりうなだれた。精根つき、やつとのことで家にたどりついた直樹は部屋に帰らず、ガレージに入つて、父の車の前輪と後輪のナツトを全部外し二階の物置の古いベツドにもぐりこんだ

その翌朝、父の車が出て行くのを夢うつつに聞いた直樹も来客の気配に眼を覚ました。誰だろうと窓から応接の方をのぞいたが誰も居ず、すぐ近くの母親の室で母親が一人の男と抱き合つているのが、眼に見えた。じつとして居れなくなつてガレージを飛び出した直樹が女中をつかまえて聞き出した情報では、母親と情人との交き合いはもう二年に及んでいた。

直樹は始めて父と母との冷たい反目が母に始まつていたのを知つたしかも父はナツトを外した車に乗つて外出した後である程なく父が重傷を負つて熱海の市営病院に収容されたという電話を受けた直樹は真先きに父の病床にかけつけ、「ぼくがやつたんだよ、車のナツトを外したのは」と泣きながら叫んだ。それを聞いた父親は眼を閉じ、また見開くとゆつくり微笑を浮べた。直樹はそのまま病室に駆りこんでしまつたが、兄が到着すると入れ違いに部屋を出て、海岸沿いの国道を無表情に何処えともなく歩んで行くと、後から節子の自動車が迫つてきた。節子の車に拾い上げられた直樹は「何んだか馬鹿に睡いや」とつぶやいてグツタリしてしまつた。

以上、ストリーとしては面白いが、作者が太陽族映画でないと否定しているにも拘らず、結果としては映画資本の笛に踊らされた興味本位の映画になつている。

父に対する殺意の場合も、その心理の裏付けは考慮されているが上ずべりし、太陽族らしい異常な場面だけが大きく押出され、ドライ族への迎合がうかがわれる。

日しよくの夏のシーン